

平成24年度

和歌山県精神保健福祉センター所報



2015年 紀の国わかやま国体マスコット
きいちゃん

和歌山県精神保健福祉センター

はじめに

ここに、平成24年度版和歌山県精神保健福祉センター所報をお届けいたします。本所報には、平成24年度に和歌山県精神保健福祉センターが実施した事業の実績がまとめられています。関係者の皆様にご一読をいただき、ご助言をいただければ幸いです。

精神保健福祉センターの担うべき役割と責任は幅広く、さらには社会的な変動や災害・事件などに関連した新たな課題にも適切に対応することが求められます。近年の重点課題となっている自殺対策、ひきこもり対策は、まさに社会経済的な問題とこころの健康が密接に関連する問題であり、単に精神科医療を拡充するだけでは足りず、これまで以上に広い関連分野との連携が求められる問題といえます。また、災害時精神保健支援活動においても、和歌山県内の災害にとどまらず、県外で発生した大規模災害への支援体制を整備するなど、より広域的な視点が求められるようになりました。

このような時代の要請に応じるためにも、精神保健福祉センターは精神科医療や保健福祉の領域から、社会全般に目を向け、幅広いネットワークを構築する努力を続けなければなりません。精神保健福祉センターが技術支援や情報発信だけでなく、地域の支援のネットワークの一員として、より多くの方々とのつながりを大切に活動ができればと思います。

これからも精神保健福祉センターに求められる多様な役割を果たすべく、職員一同で研鑽を積んでいく所存でございますので、今後とも皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますよう心よりお願いいたします。

平成25年10月

和歌山県精神保健福祉センター

所長 小野 善郎

目 次

I センターの概要

1. 沿革	-----	1
2. 業務の概要	-----	1
3. 職種別職員構成	-----	2
4. 施設の概要	-----	2

II 平成24年度 事業実績

1. 技術指導・技術援助	-----	3
2. 教育研修	-----	5
3. 普及啓発	-----	6
4. その他の事業	-----	8
5. 自殺対策情報センター事業	-----	9
6. ひきこもり地域支援センター事業	-----	1 1
7. こころのレスキュー隊事業	-----	1 3
8. 精神保健福祉相談	-----	1 4
9. 医療・福祉関係事務	-----	1 6
(表1) 精神医療審査会の審査に関する事務	-----	1 6
(表2) 精神障害者保健福祉手帳所持者数	-----	1 7
(表3) 精神障害者保健福祉手帳交付者数	-----	1 7
(表4) 自立支援医療（精神通院）受給者証交付状況	-----	1 8

III 添付資料

精神障害者に対する保健福祉施策等一覧	-----	1 9
--------------------	-------	-----

I 和歌山県精神保健福祉センターの概要

- 1 沿革
- 2 業務の概要
- 3 職種別職員構成
- 4 施設の概要

I センターの概要

1 沿革

精神保健福祉センターは、精神保健福祉法に基づいて、都道府県における精神保健及び精神障害者の福祉に関する総合的技術センターとして、知識の普及を図り、調査研究並びに相談業務を行い、精神保健福祉の関係機関に対する技術指導・技術援助を行うものである。

昭和39年11月	「精神衛生相談所」を和歌山県立医科大学附属病院内設置
昭和56年4月	「精神衛生センター」に名称変更 和歌山県立五稜病院に移転
昭和63年7月	「精神保健センター」に名称変更
平成7年7月	「精神保健福祉センター」に名称変更
平成10年12月	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛に移転
平成11年4月	精神保健福祉相談員・保健師1名ずつ増員（常勤職員数4人体制）
平成14年4月	事務職員1名増員（常勤職員数5人体制）
平成18年4月	事務職員2名、社会福祉職1名増員（常勤職員数8人体制）
平成19年4月	保健師・社会福祉職1名ずつ増員、精神保健福祉相談員・事務職1名ずつ減員
平成20年4月	保健師1名減員（常勤職員数7人体制）
平成21年4月	保健師1名増員（常勤職員数8人体制）

2 業務の概要

(1) 企画立案

地域精神保健を推進するため、県の精神保健福祉主管部局及び関係機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進や、地域の精神保健施策の推進に関する事項等について提案、意見具申等を行う。

(2) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所、市町村等の関係機関に対し、専門的立場から積極的な技術指導及び技術援助を行う。

(3) 教育研修

保健所、市町村等の関係機関で精神保健福祉業務に従事する職員を対象に、その資質の向上を図るため、専門的な教育・研修を実施する。

(4) 普及啓発

一般住民に対し精神保健福祉や精神障害についての知識、権利擁護等について普及啓発を行うとともに、保健所及び市町村が行う普及啓発活動に対して協力、指導及び援助を行う。

(5) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進、精神障害者の社会復帰の促進等に関する調査研究を行い、必要な統計及び資料を収集し、保健所や市町村が行う精神保健福祉活動が効果的に展開できるよう資料を提供する。

(6) 精神保健福祉相談

自死遺族ケア、ひきこもりをはじめとする思春期の特定相談を含め、精神保健福祉全般の相談（特に複雑または困難なもの）を実施する。

(7) 組織育成

家族会、患者会等県単位の組織の育成に努めるとともに、地域単位の組織の活動に協力する。

(8)精神医療審査会

入院中の者等からの退院請求や処遇請求に対する調査・審査を実施し、患者の適正医療と人権の確保を図っている。

(9)精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療(精神通院医療)の判定及び交付・承認事務

精神障害のため、日常生活又は社会生活に支障のある方を対象に、医療や福祉の支援を受けやすくすることを目的とした「精神保健福祉手帳」の判定・交付事務を行っている。

精神障害者の通院医療を促進し、早期治療・早期退院・再発防止等適正な医療の普及を図るため、通院医療に要する費用について公費負担制度を実施しており、それに伴う判定・承認等の業務を実施している。

3 職種別職員構成

H 2 5 . 3 . 3 1 現在

	医師	精神保健福祉 相談員	保健師	福祉職	事務職	計
常 勤	1	1	2	2	2	8
非常勤	4			1	1	6
計	5	1	2	3	3	14

4 施設の概要

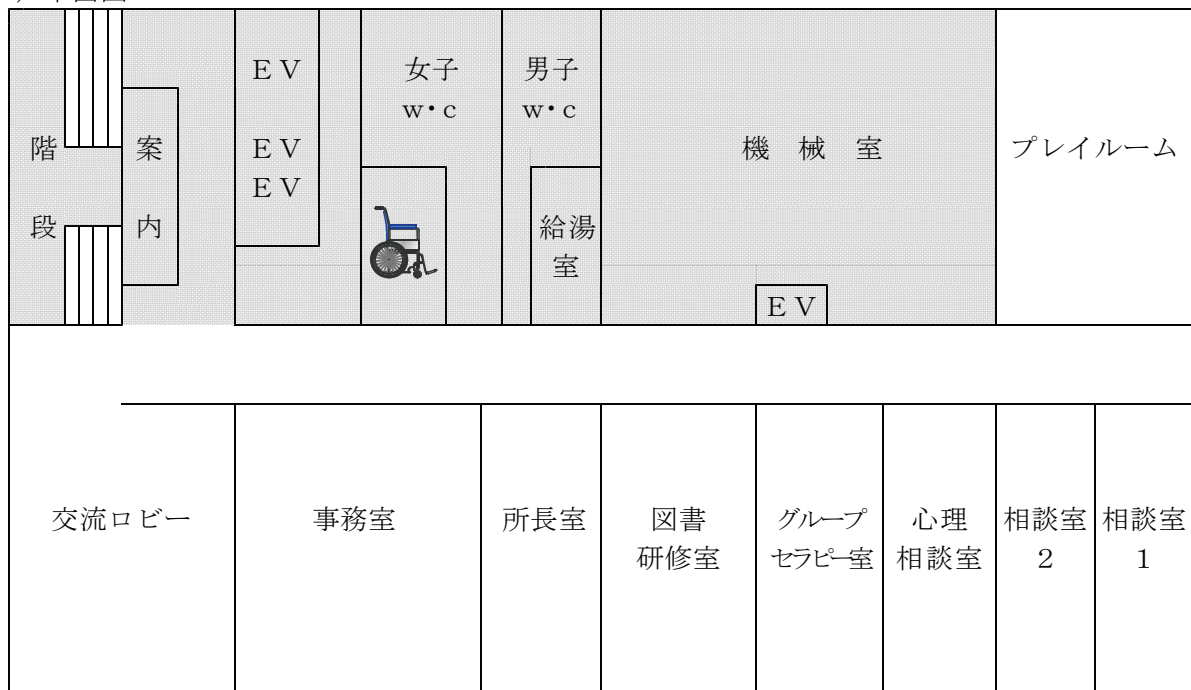
(1) 所在地

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号
 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階
 電 話 073-435-5194
 F A X 073-435-5193

(2) 建物の状況

12階建て鉄筋コンクリート造り県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階に入居
 占有面積 372.66㎡

(3) 平面図



* E V : エレベーター

Ⅱ 平成22年度 事業実績

- 1 技術指導・技術援助
- 2 教育研修
- 3 普及啓発
- 4 その他の事業
- 5 自殺対策情報センター事業
- 6 ひきこもり地域支援センター事業
- 7 こころのレスキュー隊事業
- 8 精神保健福祉相談
- 9 医療・福祉関係事務

Ⅱ 平成24年度 事業実績

1 技術指導・技術援助

地域精神保健活動を推進するため、保健所及び関係機関に対し、研修会の講師や会議での助言等の技術指導及び技術援助を行った。

(1)関係機関別・内容別件数

関係機関に対して精神保健福祉に関する技術指導・援助及び組織育成を行った（講演除く）。

関係機関	技術指導・援助の内容別件数(延件数)									
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	ひきこもり	自殺関連	その他	計
保健所		1	1		2	1	1	2		8
市町村							1	1	3	5
福祉事務所										0
医療施設				1		1				2
介護老人保健施設										0
社会復帰施設										0
社会福祉施設										0
その他		1	1		3	3	4	2	2	16
計	0	2	2	1	5	5	6	5	5	31

組織育成

	対象					
	患者会	家族会	断酒会	職親会	その他	計
支援件数	0	12	0	0	11	23

(2)業務別支援内容等

会議等

内容	出席回数
自立支援協議会	4
相談ネットワーク和歌山担当者会議	1
医療観察法ケース会議	13
医療観察制度運営連絡協議会	1
和歌山保健医療圏・職域連携推進協議会	1
和歌山県犯罪被害者支援連絡協議会	1
支援困難事例検討会議	4
和歌山県生活福祉・就労支援協議会	1
ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会	3
全国精神医療審査会連絡協議会	2

(3)委嘱・委員等

内容	会議への出席回数
精神障害者地域移行支援委員会	1
精神障害者雇用支援連絡協議会委員	2
高次脳機能障害委員会	1
和歌山県立医科大学付属病院こころの委員会委員	2
メンタルヘルス対策支援センター業務運営協議会委員	1
地域若者サポートステーションの運営に係る企画書評価委員会	1
若者総合相談窓口における相談支援業務の実施に係る企画書評価委員会	1

(4) 講演講師等

内 容	対 象	主 催
研修会講師「震災後の子どもと保護者の心のケア (長期的支援における地域への取り組み)	ふれあいプラザ関係職員、行政職員等	仙台市子供未来局
警察相談研修 講義「精神疾患の対処要領」	警察相談員	警察学校
児童相談所医師専門研修 実践報告「児童相談所医師の役割」での報告	児童相談所に勤務する医師	子どもの虹情報研修センター
平成24年度近畿乳児福祉協議会における記念講演 「福祉現場で役立つ児童精神医学の基礎知識」	近畿地区の乳児院職員100名	近畿乳児福祉協議会
子どもの精神医学「思春期のこと」	里親20名	和歌山乳児院・和歌山つくし会
「精神障害の理解」	作業所職員約10名	和歌山県福祉事業団
平成24年度地域防災リーダー育成講座 (紀の国防災人づくり塾)「災害時のこころのケア」	1回目 80名 2回目 96名	危機管理局総合防災課
研修会講師「うつ病の理解」	中小企業経営者等	和歌山商工会議所
ひきこもり家族・支援者等を対象とした教室(第2回) 「コミュニケーション支援について」	ひきこもり家族・支援者等25名	白浜町民生課
「診断」にもとづく支援から「ニーズ」にもとづく支援へ	海南市民30名	海南市人権推進市民の会
ゲートキーパー養成研修 (全2回)	組合員、従業員	和歌山県理容生活衛生同業組合
児童相談所児童心理司スーパーバイザー研修	児童相談所児童心理司	子どもの虹情報研修センター
ひきこもり支援者スキルアップ研修 「ひきこもり地域支援体制についての概論講義」	ひきこもり支援に関わる職員	三重県こころの健康センター
人権研修講義(全4回)「精神障害と人権」	病院職員	県立医科大学附属病院
日高要保護児童対策地域協議会 講演「虐待からの親子の育ち」	児童福祉関係職員	日高要保護児童対策地域協議会
第3回人権教育担当者連絡協議会 「移行支援としての高校教育ー高校教育改革への提言ー視点を変わると見えてくるもの」	人権教育担当者	健康等学校第1ブロック 人権担当者連絡協議会
ひきこもり支援学生サポーター養成研修	堺市ユースサポーター	NPO法人み・らいず
専門里親研修	専門里親	里親支援センター「なでしこ」
近畿地区知的障害者関係職員研修「知的障害に伴う行動障害に対する薬物療法の現状と課題」	知的障害者関係職員	日本知的障害者福祉協会
平成24年度第1回近畿ブロック運営適正化委員会 「精神疾患や精神障害の理解を深める」	会議出席者	和歌山県社会福祉協議会
心配ごと相談員研修会「不安な心に寄りそって」	心配ごと相談員	和歌山市社会福祉協議会
和歌山県人権相談ネットワーク研修会 「生きづらさを感じている方に寄り添って」	和歌山県人権相談ネットワーク協議会会員	和歌山県人権相談ネットワーク協議会
若年者自殺対策研修会 シンポジウムコーディネーター 「児童生徒のこころと行動に関する調査結果について 教育現場と地域から考える」 講話 「宮城県における思春期の若者に対する支援について」	学校関係者、医療機関、相談機関、市町村、 県行政職員等	宮城県精神保健福祉センター
有田圏域における引きこもり対策連絡会 「和歌山県精神保健福祉センターにおける ひきこもり支援連絡協議会の取り組みについて」	ひきこもり支援者	湯浅保健所

(5) 学会発表

内 容	主 催
第24回日本発達心理学会シンポジウム 「移行支援としての高校教育 －思春期の発達支援から、新たな高校教育のパラダイムを模索する－」	日本発達心理学会
第48回全国精神保健福祉センター研究協議会 「和歌山における自死遺族支援について」	全国精神保健福祉センター 研究協議会

2 教育研修

保健所、市町村、社会復帰施設、精神科医療機関、その他の関係機関で、精神保健福祉業務に従事する職員等を対象として、その資質向上を図るために精神保健福祉に関する専門的な研修を実施した。

(1) 精神保健福祉関連新任者研修

新しく精神保健福祉業務に従事した者が、精神保健福祉に関する基礎知識を学び、業務に活かしていくことを目的に、業務に従事して概ね5年以内の担当者を対象に2日間にわたり実施した。

※敬称略

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
第1日目 平成24年6月5日 ビッグ愛 (和歌山市)	講義 「精神疾患と精神障害の理解」 講師 精神保健福祉センター 所長 小野善郎 ----- 講義 「精神障害者と人権」 講師 財団法人 信貴山病院ハートランドしぎさん 看護部長 大谷須美子 氏	53名
第2日目 平成24年6月6日 ビッグ愛 (和歌山市)	講義 「障害福祉サービスについて」 講師 障害福祉課 中川 浩二 ----- 講義 「相談の受け方」 講師 心療オフィス 上野和久 氏	55名

(2) 精神保健福祉従事者専門研修

精神保健福祉業務に従事する職員の技量を高め、精神保健福祉サービスの向上を図ることを目的に、業務に従事して概ね3年以上の担当者を対象に実施した。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
平成25年2月12日	「強みをのばす関わり方について」 日本福祉大学社会福祉学部 教授 田中千枝子 氏	19名
平成25年2月16日 和歌山ビッグ愛	「ギャンブル依存症の理解」 奈良依存症回復支援施設 セレニティパークジャパン 代表者 当事者グループ 和歌山なごみ 代表者	18名

(3) 思春期セミナー研修

教育、行政、医療、福祉施設職員等の資質向上をはかることを目的に実施した。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
平成25年1月18日 ビッグ愛 (和歌山市)	講義 「いま、思春期を問い直す ～グレイゾーンにたつ子どもたち～」 講師 千葉大学教育学部附属教育実践総合センター 保坂亨 氏	44名

※自殺対策、ひきこもり、こころのレスキュー隊関連事業の研修については、後章に掲載する。

3 普及啓発

一般県民や関係機関に対し、精神保健福祉や精神障害についての知識や情報を提供するために、以下のとおり講演会や出版物の作成等、普及啓発を行った。

(1)講演会

こころの健康講座

地域住民がこころの健康について関心を持ち、自らこころの健康増進を図るための知識の普及を目的に開催した。

開催日・会場	テーマ・講師	参加者数
平成24年12月8日 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講演 「うつ病の理解と治療」 講師 けやきメンタルクリニック 医師 津河 大路 氏	19名

(2)催し等

①わかやまこころのフェスタ2012

県民のこころの健康の保持増進と、こころの病を持つ人に対する正しい理解を広めることを目的に開催した（ふれあい人権フェスタと共催）。

開催日・会場	内 容	参加者数
平成24年11月28日 ビッグホエール (和歌山市)	ステージイベント (1) 和歌山県精神保健福祉協会長表彰式 「ほっとする笑顔つながるこころの絵」表彰式 (2) 「グループ活動紹介」 出演 地域活動支援センター櫻 ジャンベチーム「アボロッサム」の演奏 (3) 講演会「日本人のこころのしくみ」 講師 きたやまおさむ 氏	9,600名

②「ほっとする 笑顔つながる こころの絵」

県民にこころがほっとする絵をはがき大から、八つ切り用紙の大きさまでに描いてもらい、こころの健康やゆとりのある生活を見つめなおしてもらう機会を提供した。

応募総数64作品の中から7点を審査の結果、入賞作品として選び、「わかやまこころのフェスタ2012」で表彰した。

③精神障害者ソフトバレーボール和歌山県大会(和歌山県精神保健福祉協会主催)

精神障害者がスポーツを楽しみ体力の維持増進をはかることや、仲間とのふれあいを体験する等の社会参加を推進することを目的に実施した。

開催日・会場	内 容	参加者数
平成24年11月1日 ビッグホエール (和歌山市)	県内9チームが参加し、優勝から4位チームまでを決定した。	選手・役員等 114名

④和歌山県精神保健福祉協会主催講演会

県民への精神保健福祉に関する知識の普及とこころの健康づくり推進のため、和歌山県精神保健福祉協主催で実施した。

開催日・会場	内 容	参加者数
平成24年7月18日 ビッグ愛 (和歌山市)	講演会 「心の病 回復への道」 講 師 日本福祉大学 野中猛 氏	一般県民 67名

(3)広報出版物等

①和歌山県精神保健福祉センター便り「わかやま」

関係機関への情報提供と県民への啓発のため、社会復帰施設等の紹介、県内の精神保健福祉の最新情報、和歌山県精神保健福祉センターの研修や講演会の案内等を掲載し、年4回発行した。

号 数	送付先機関	発行部数
第51号(5月)	194	429
第52号(8月)	194	429
第53号(11月)	194	429
第54号(2月)	195	431
合 計	777	1,718

②出版物等作成

内 容	部 数
和歌山県精神保健福祉センター所報	100冊

③精神保健福祉等に関する図書やビデオの貸し出しをおこなった。

④報道関係者への情報提供

内容等	メディア名	月 日
自殺対策（こころの健康に関する意識調査）	読売新聞	8月2日掲載
自殺対策（こころの健康に関する意識調査）	産経新聞	8月30日取材
災害時のこころのケア(台風12号から1年)	紀伊民報	9月8日掲載
自殺予防週間	4紙和歌山版	9月11日掲載
自殺予防週間及び全国一斉電話相談	和歌山放送	9月10日朝
自殺予防週間	テレビ和歌山	9月10日
意識調査及び自殺予防週間	産経新聞	9月11日
近畿6府県自殺対策テレビCM	在阪民放テレビ局 合計500本程度	9月10日～23日

※自殺対策、ひきこもり、こころのレスキュー隊関連事業については、後章に掲載する。

4 その他の事業

セルフヘルプ交流会「なごみの会」

セルフヘルプグループの方々運営していく上での悩みを分かち合い、情報交換することにより、県内にあるセルフヘルプグループの活性化を図ることを目的に開催した。

対 象 セルフヘルプグループの運営を行っている方

場 所 精神保健福祉センター グループセラピー室

開催回数 全5回

参加延人数 11名（4グループ）

ひきこもり家族のつどい

ひきこもり者の家族同士が、わかちあいや情報交換の場を持ちながら、問題の解決に向けた自助機能を高めていくことを目的に全12回開催した。

対 象 ひきこもり者の家族

場 所 精神保健福祉センター グループセラピー室

回 数 12回

参加者数 実人数 11人（延べ40人）

ひきこもり青年のつどい及びフリースペース

ひきこもり者や、他者との関わりに不安を持つ方を対象に集まりの場所（居場所）を提供し、コミュニケーションや相談の場を設けて、ひきこもりからの回復につなげることを目的に開催した。

対 象 県内在住で概ね16歳から40歳までの方

場 所 精神保健福祉センター プレイルーム

内 容 トランプやウノ、パズルなどの室内ゲームや音楽鑑賞、映画鑑賞（DVD）、卓球、読書などを行った。

開催日 毎週火曜日 13:00～16:00 全48回開設

参加者数 実人数 12人（延べ 67人）

5 自殺対策情報センター事業

(1)センターの概要

目的 自殺対策の総合的な支援機関として、自殺を考えている者、自殺未遂者及び自殺者の親族等に対する支援の充実を図るため、相談支援、関係機関との連携強化、普及啓発等の情報発信、専門研修による人材育成に取り組む。

開設日 平成21年9月7日 **場所** 精神保健福祉センター内

(2)平成24年度 事業実績

①自殺対策啓発

・自殺対策講演会・自死遺族の交流会

開催日	場所	内 容	参加者数
平成24年6月2日	ビッグ愛 (和歌山市)	「その後を生きる～死別の悲しみとともに」 講師 日赤和歌山医療センター 精神科部 東睦広 氏	一般県民 35名
		〈交流会〉 内容 わかちあいの会	自死遺族 6名
平成24年12月22日	ビッグ愛 (和歌山市)	「生きづらさと向き合う」 講師 田辺保健所 主任 栗田直嗣 氏 音楽演奏 ねこきっさ	一般県民 25名
		〈交流会〉 内容 わかちあいの会	自死遺族 8名

・こころと命の講演会

開催日	場所	内 容	参加者数
平成25年 3月 2日	プラザホープ (和歌山市)	講演「想像するちから～チンパンジーが 教えてくれた人間の心～」 講師 京都大学霊長類研究所 教授 松沢 哲郎 氏	一般県民 37名

・命をまもるメッセージ募集

県民から2,232作品の応募があり、入選作品を審査により決定、啓発に活用

・ホームページ

自殺対策情報センターのホームページより、県民向けに自殺予防から遺族支援のための各種講演会、相談事業等についての情報を発信した。

・街頭啓発

自殺予防週間及び自殺対策強化月間における和歌山駅等での街頭啓発

・啓発物品作成

メモ帳、パンフレット（うつ病を知っていますか、気づいてくださいこころのサイン）不織布バッグ

②人材育成(自殺対策研修)

対 象 保健所及び市町村の精神保健福祉及び自殺対策関連課の職員、精神科医療機関、社会復帰施設、障害福祉サービス事業所職員 等

研修会

回数	場所	内 容	参加者数
2回	ビッグ愛(和歌山市)	自殺対策企画研修「自殺の疫学と地域診断」 講師 茨城県精神保健福祉センター 所長 佐藤茂仁 氏	10名
	田辺市文化交流センターたなべる(田辺市)	自殺対策企画研修「市町村の取り組み」 講師 有田市 坂部美紀 氏 白浜町 清宮乙香 氏	7名
1回	御坊市役所(御坊市)	傾聴研修「高齢者の自殺予防」 講師 高野山大学 森崎雅好 氏	44名
1回	美浜町役場(美浜町)	自殺予防研修「メンタルヘルスについて」 講師 南和歌山医療センター 厚坊 浩史 氏	24名
1回	プラザホープ(和歌山市)	ゲートキーパー養成研修「皆が知っておくべき自殺対策情報」 講師 長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター 所長 大塚 俊弘 氏	18名

・うつ病等対策

開催日	場 所	内 容	参加者数
平成24年11月30日	ビッグ愛 (和歌山市)	「認知行動療法の基礎と実践」 講師 和歌山大学保健管理センター 准教授 山本 朗 氏	56名
平成24年12月 8日	ビッグ愛 (和歌山市)	「うつ病の理解と治療について」 講師 けやきメンタルクリニック 院長 津河 大路 氏 (※再掲)	19名

③地域ネットワークづくり(和歌山県自殺対策情報センター専門部会)

目 的 自殺対策について、関係機関が情報交換を行うと共に、連携の強化を図ることによって自殺予防から遺族支援までの体制を整え、自殺者の減少を図る。

構成機関 22機関

開催日	出席者	内 容
平成24年 5月31日	18名	平成23年度事業報告及び平成24年度事業計画
平成25年 1月31日	9名	こころの健康に関する意識調査結果報告 「命をまもるメッセージ」選考会
平成25年 2月28日	12名	事業紹介「精神科医とかかりつけ医との連携」(和歌山市) 「命をまもるメッセージ」表彰式

④その他

・うつ病学習会 対 象 うつ病者の家族等

日程	場 所	内 容	参加者数
平成25年 1月11日	ビッグ愛 (和歌山市)	「うつ病の方への対応とストレス対処法」 講師 南和歌山医療センター 主任臨床心理士 厚坊浩史 氏	11名
平成25年 2月 1日	ビッグ愛 (和歌山市)	「うつ病からの回復を支える」 講師 紀の川病院 地域生活支援部長 森口智史 氏	14名
平成25年 3月23日	串本町文化 センター(串本町)	「高齢者のうつ病の理解」 講師 クリニックルピナス 院長 尾崎 宜洋 氏	14名

・アルコール依存症学習会 対 象 アルコール依存症の家族等

日程	場 所	内 容	参加者数
平成24年12月10日	那智勝浦町 体育文化会館	「アルコール依存症と家族について」	14名
		「アルコール依存症および家族への支援」 当事者及び家族の体験談 講師 新阿武山クリニック ソーシャルワーカー 西川 京子氏	22名
平成25年 3月 7日	ビッグ愛 (和歌山市)	「アルコール依存症の理解と治療」 講師 新いずみ病院 医師 高森 宏 氏	13名
平成25年 3月15日	ビッグ愛 (和歌山市)	「アルコール依存症と家族」 講師 海南保健所 精神保健福祉士 吉岡 範通 氏	10名

・自死遺族支援

対 象 大切な人(家族・知人・友人)を自死で亡くした方

内 容	開催回数	参加者数
自死遺族相談(臨床心理士による個別相談) ※再掲	全24回	延73名
自死遺族のための分かちあいの会「うめの花」	全6回	延34名

6 和歌山県ひきこもり地域支援センター 事業

和歌山県ひきこもり地域支援センター

目的 地域のひきこもり支援の核となる支援機関として、保健所やひきこもり者社会参加支援センターと連携しながら、主として、関係機関との連携強化、ひきこもり支援に必要な情報発信、一次相談窓口の充実、人材育成を行う。

開設日 平成21年 8月 7日

場 所 県精神保健福祉センター内

(1) 関係機関との連携強化

- ・支援体制の充実を目的に各圏域ごとに保健所の担当者と協議のうえ、ひきこもりに関する事業説明、情報交換等を実施した。
- ・和歌山県ひきこもり支援連絡協議会を実施し（平成24年12月17日）、県内のひきこもり民間機関、労働、医療、福祉保健等の関係機関どうしで、ひきこもり者及びその家族への支援体制整備に向けた協議を行った。

(2) 情報発信

- ・ホームページ「和歌山県ひきこもり地域支援センター」の運営 他

(3) 一次相談窓口

- ・窓口周知、電話及び来所による相談対応

(4) 人材育成

- ・人材育成（研修会の開催）

対象 ひきこもり支援従事者

（保健所及び市町村の担当職員、ひきこもり者社会参加支援センター職員等）

開催日・場所	テーマ・講師	参加者
平成24年9月18日 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講演会： 「“ひきこもり”町おこしに 発つ！」 講師：秋田県藤里町社会福祉協議会 事務局長 菊池まゆみ 氏	70名

(5) ひきこもり家族教室

対 象 「ひきこもり」者を持つ家族

目 的

- ① 「ひきこもり」に関する知識の普及・啓発
- ② 家族の負担の軽減/孤立化の防止
- ③ 家族の自助機能の強化（集まり・学びの場の育成/地域資源との結びつきの強化）

24年度実績

【海南・海草圏域】

【西牟婁圏域】

第1回	平成24年 11月13日	「ひきこもりの理解」 精神保健福祉センター 所長 小野善郎	14 名	平成24年 11月9日	「ひきこもりの理解」 精神保健福祉センター 所長 小野善郎	21 名
第2回	平成24年 12月11日	「本人も家族も楽にな るコミュニケーション」 高野山大学文学部 森崎雅好 氏	19 名	平成24年 11月29日	「本人も家族も楽にな るコミュニケーション」 高野山大学文学部 森崎雅好 氏	18 名

【伊都圏域】

全1回	平成25年 1月25日	「経験者の思いを聞く」 コーディネーター 麦の郷ハートフルハウス創 野中康弘氏 経験者3名	7 名
-----	----------------	---	--------

(6) その他

全国ひきこもり地域支援センター連絡協議会事務局等。

7 こころのレスキュー隊関連

1) 和歌山県こころのレスキュー隊隊員構成

表 隊員構成 (平成25年3月現在)

職 種		(内 訳)	
医師	4人	精神保健福祉センター職員	(3人)
臨床心理士	7人	センター以外の県職員	(14人)
精神保健福祉士	13人	上記以外の公務員*	(4人)
保健師	2人	その他(民間職員等)	(13人)
看護師	5人	指揮担当	(8人)
その他	3人	直接ケア担当	(20人)
計	34人	補助業務担当	(6人)

() は内数、* 国立、市町村、独立行政法人など

2) CRT派遣業務

出動実績 (平成22～24年度はこころのレスキュー隊の出動はありません)

こころのレスキュー隊出動実績 (平成25年3月現在)

回	年度	事件・事故の概要	派遣先	日数	延べ人数(実人数)
1	H19	自宅で児童、母親、祖父が殺害される。(Ⅲ弱)	小学校	2日	16人(10人)
2	H19	校外で生徒が自殺 (Ⅱ)	高校	3日	23人(11人)
3	H20	校外での同学年生徒による殺人未遂※ (Ⅲ強)	中学校	3日	26人(14人)
4	H20	校外で生徒が列車にはねられ死亡 (Ⅱ)	高校	3日	29人(13人)
5	H20	自宅で児童、祖母が殺害される。(Ⅲ弱)	小学校	3日	35人(17人)
6	H21	寄宿舎で生徒が水死 (Ⅱ)	特別支援学校	3日	19人(10人)

(全6回) ※第3回は、県外隊員1人を含む。

3) 事件、事故、災害等に関する心のケア関連の研修

開催日	テーマ・講師	参加者数
平成24年11月7日 (和歌山ビッグ愛)	「学校現場における緊急危機対応ー事件・事故が生じた場合の心のケアのあり方」 講師 和歌山県臨床心理士会	37名
平成24年11月28日 (田辺市民総合センター)	副会長 上野 和久 氏	26名

(対象：学校教職員、SC、こころのレスキュー隊新規登録者、医療関係者、等)

開催日	テーマ・講師	参加者数
平成24年12月12日 (和歌山ビッグ愛)	「子どものトラウマ理解と対応」 講師 兵庫県こころのケアセンター 副センター長 亀岡 智美 氏	43名

(対象：学校教職員、保健師、看護師、臨床心理士、PSW、等)

開催日	テーマ・講師	参加者数
平成25年2月25日 (和歌山ビッグ愛)	「東日本大震災後の精神保健ー現状と課題ー」 講師 みやぎ心のケアセンター 地域診療部長 福地 成 氏	30名

(対象：こころのレスキュー隊隊員、学校教職員、SC、地域保健担当者、等)

- 4) 第7回全国CRT連絡協議会(心の研究支援活動研修会：京都市)への参加
平成24年8月30、31日、第7回全国CRT連絡協議会に出席し情報交換等を行った。
5) 災害時のこころのケア活動に関する中央研修参加 他

8 精神保健福祉相談

県民のこころの悩みや精神疾患等に関する健康相談を電話及び面接により実施した。所内相談は、月として予約制で実施している。電話相談は一般回線とこころの電話専用回線とで受けている。さらに特例として、嘱託医による思春期・青年期相談、臨床心理士による自死遺族相談を実施している。

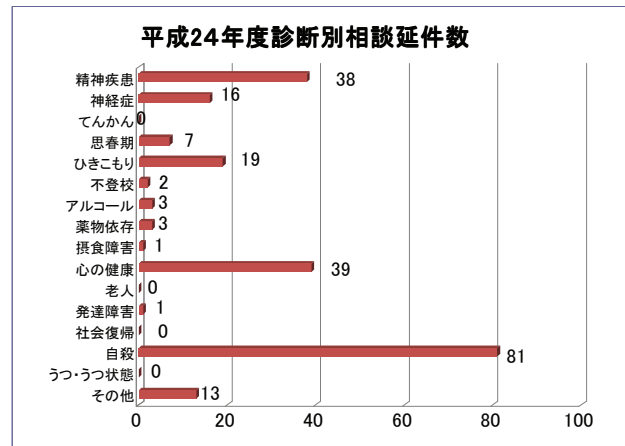
相談方法別件数

		平成24年度	平成23年度
面接相談①		223	209
電話相談	一般	330	403
	こころの電話	1,248	1,185
	はあとライン	271	68
	いっぽライン	23	11
	小計②	1,872	1,667
退院請求等③		233	187
計(①+②+③)		2,328	2,063

面接相談年齢別件数

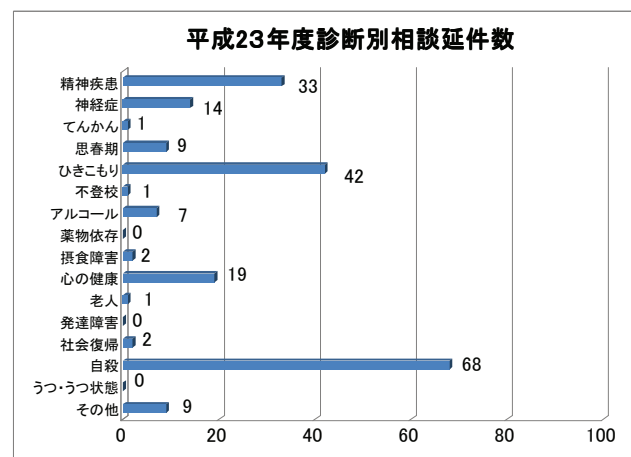
延件数・・・()内は実数

年齢	男性	女性	合計
0～9	0(0)	2(1)	2(1)
10代	7(4)	3(3)	10(7)
20代	57(23)	15(4)	72(27)
30代	29(19)	6(5)	35(24)
40代	20(7)	27(3)	47(10)
50代	4(4)	20(5)	24(9)
60代	0(0)	7(3)	7(3)
70以上	0(0)	3(2)	3(2)
不明	10(1)	13(1)	23(2)
合計	127(58)	96(27)	223(85)



面接相談診断別件数

	男性	女性	合計
精神疾患	33(14)	5(5)	38(19)
神経症	16(1)	0(0)	16(1)
てんかん	0(0)	0(0)	0(0)
思春期	5(1)	2(2)	7(3)
ひきこもり	18(11)	1(0)	19(11)
不登校	0(0)	2(2)	2(2)
アルコール	2(2)	1(1)	3(3)
薬物依存	2(2)	1(0)	3(2)
摂食障害	0(0)	1(0)	1(0)
心の健康づくり	30(17)	9(8)	39(25)
老人	0(0)	0(0)	0(0)
発達障害	1(1)	0(0)	1(1)
社会復帰	0(0)	0(0)	0(0)
自殺	12(4)	69(7)	81(11)
うつ・うつ状態	0(0)	0(0)	0(0)
その他	8(5)	5(2)	13(7)
合計	127(58)	96(27)	223(85)



(電話相談)

年代別男女別延件数

年代	男性	女性	不明	計
児童	2	6	4	12
思春期	24	16	2	42
成人	857	620	14	1491
老人	201	47	1	249
乳幼児	1	1	0	2
不明	25	24	27	76
総合計	1,110	714	48	1,872

保健所管内別男女別延べ件数

保健所	男性	女性	不明	計
伊都 (橋本)	11	12	0	23
那賀 (岩出)	9	29	2	40
海草 (海南)	8	10	2	20
有田 (湯浅)	149	4	0	153
日高 (御坊)	21	10	0	31
西牟婁 (田辺)	45	14	2	61
東牟婁 (串本)	3	13	0	16
(新宮)	5	32	0	37
和歌山	565	152	5	722
県内	169	274	22	465
県外	11	12	2	25
不明	114	152	13	279
総合計	1,110	714	48	1,872

相談内容別男女別延件数(重複あり)

相談内容	男性	女性	不明	計
統合失調症に関すること	186	59	2	247
感情障害に関すること	61	84	0	145
その他の精神疾患に関すること	38	41	2	81
治療について	47	58	13	118
就労について	103	25	4	132
社会復帰施設	7	2	2	11
制度について	40	17	4	61
知的・発育上の問題	8	3	1	12
教育上の問題	5	3	0	8
ひきこもり	38	30	3	71
人間関係の問題	142	170	3	315
その他の性格、行動上の問題	65	42	4	111
身体上の問題	20	21	0	41
結婚、性に関する問題	9	16	0	25
アルコール	12	9	4	25
薬物中毒の問題	7	1	3	11
ギャンブルの問題	4	1	1	6
摂食障害	0	8	1	9
老人の問題	13	5	0	18
患者(対象者)へのかかわり方	18	29	1	48
自殺	64	132	2	198
その他	366	121	10	497
不明	0	0	0	0
計	1,253	877	60	2,190

処遇状況(重複あり)

処置	男性	女性	不明	計
電話カウンセリング、助言	1072	662	31	1,765
来所相談を勧める	8	4	2	14
情報提供、紹介	32	55	16	103
かけ直し依頼	2	0	0	2
その他	11	11	1	23
総合計	1,125	732	50	1,907

9 医療・福祉関係事務

精神保健福祉法第12条の規程に基づいて、和歌山県精神医療審査会は、精神障害者の人権擁護とその適正な医療及び保護を図るために設置されている。平成24年度の開催事務及び審査遂行上必要な調査、その他審査に関する事務に対する審査状況は表1の通りである。

また、精神保健福祉法第45条第1項の規程による精神障害者保健福祉手帳の申請に係る診断書の判定業務を行った。平成24年度の判定実績は、表2及び表3の通りである。

自立支援医療（精神通院）の申請に係る診断書の判定を行った。受給者証交付状況は表4に示す。

(表1)精神医療審査会の審査に関する事務

区 分	届出等の 件数	審査 件数	審 査 結 果					取 下 げ	退院等 の審査 要件の 消失	審査中	未審査	
			入院等 は 適当	他の 入院形 態への 移行が 適当	入院継 続 不要	入院又は 処遇は 不適切	計					
医療保護入院の届出 (法第33条第1項)		804	804	804	0	0	0	804	0	0	0	0
定 期 の 病 状 報 告	措置入院者	2	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0
	医療保護 入院者	506	506	502	0	0	0	502	0	0	4	0
退 院 の 請 求	措置入院者	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
		4	3	2	1	0	0	3	1	0	0	0
	医療保護 入院者	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
		16	10	9	1	0	0	10	5	2	0	0
処 遇 改 善 請 求	措置入院者	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
		1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	医療保護 入院者	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
		1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
合 計		1,334	1,327	1,321	2	0	0	1,323	6	2	4	0

* ()内には、入院中の者以外から請求があったものについて再掲

* 医療保護入院者の退院請求審査件数は、平成23年度中に申請された1件を含む。

(表2)

精神障害者保健福祉手帳保持者数(平成25年3月31日現在)

	1級	2級	3級	計
和歌山市	216	973	585	1,774
海南	85	282	163	530
海南市	73	238	150	461
紀美野町	12	44	13	69
岩出	80	305	121	506
紀の川市	42	165	67	274
岩出市	38	140	54	232
橋本	51	271	137	459
橋本市	35	207	119	361
かつらぎ町	11	50	14	75
九度山町		8	1	9
高野町	5	6	3	14
湯浅	32	204	87	323
有田市	19	71	41	131
湯浅町	1	48	17	66
広川町	4	20	4	28
有田川町	8	65	25	98
御坊	34	191	100	325
御坊市	12	81	47	140
美浜町	2	28	13	43
日高町	4	13	12	29
由良町	3	18	5	26
印南町	2	17	7	26
日高川町	11	34	16	61
田辺	65	388	367	820
田辺市	45	205	226	476
みなべ町	3	40	52	95
白浜町	9	98	38	145
上富田町	5	32	38	75
すさみ町	3	13	13	29
串本	31	131	75	237
古座川町	7	17	4	28
串本町	24	114	71	209
新宮	43	258	123	424
新宮市	28	172	95	295
那智勝浦町	14	72	18	104
太地町	1	9	10	20
北山村		5		5
県内合計	637	3,003	1,758	5,398

(表3)

精神障害者保健福祉手帳交付者数(平成24年度分)

	前年度末現在	新規交付	転入	転出	返還
	(年度中)	(年度中)	(年度中)	(年度中)	(年度中)
1級	609	65	2	2	55
2級	2,799	286	24	4	149
3級	1,569	360	11	5	98
計	4,977	711	37	11	302
	障害の等級の変更 (年度中)		年度末現在		認定更新
	増	減	有効期限切れ (再掲)		(年度中)
1級	35	14	640		12
2級	119	59	3,016		39
3級	30	111	1,756		28
計	184	184	5,412		79

(表4) 自立支援医療(精神通院)受給者証交付状況

保健所名	市町村名	症状性を含む器質性精神障害	中毒性精神障害	統合失調症圏	気分障害	神経症性障害	生理的要因	成人の障害	精神遅滞	心理的発達障害	児童・思春期精神障害	てんかん	その他の精神障害	分類不明	計
和歌山市		77	60	1,300	1,110	333	8	24	23	98	36	457			3,526
海南		21	11	267	158	39	1	3	11	17	11	98			637
	海南市	18	9	227	138	35	1	2	10	17	11	86			554
	紀美野町	3	2	40	20	4		1	1			12			83
岩出		23	17	293	242	69	2	5	4	6	4	74			739
	紀の川市	13	8	182	130	37	1	3	4	3	2	38			421
	岩出市	10	9	111	112	32	1	2		3	2	36			318
橋本		37	38	441	304	47	5	21	15	16	7	97			1,028
	橋本市	31	32	338	231	33	2	15	13	11	5	79			790
	かつらぎ町	2	6	72	50	9	3	2	2	5	1	11			163
	九度山町	3		19	14	5		3				4			48
	高野町	1		12	9			1			1	3			27
湯浅		13	13	348	215	47	1	1	18	5	3	83			747
	有田市	3	3	137	73	22		1	5	1	1	41			287
	湯浅町	3	2	61	65	11	1		2		1	15			161
	広川町	3	2	44	14	3			1			3			70
	有田川町	4	6	106	63	11			10	4	1	24			229
御坊		19	21	383	237	46	3	2	9	3	6	54			783
	御坊市	3	5	151	103	20	1		4	3	5	24			319
	美浜町	5	4	42	28	4	1		3			5			92
	日高町	3	4	40	26	6						3			82
	由良町	2	3	48	22	5	1	2	1		1	7			92
	印南町	3	3	35	25	4			1			6			77
	日高川町	3	2	67	33	7						9			121
田辺		53	34	765	460	140	6	10	47	100	54	177			1,846
	田辺市	30	16	471	264	83	3	10	23	63	41	116			1,120
	みなべ町	1	5	70	56	9	1		3	7	2	9			163
	白浜町	18	7	132	90	27			9	5	6	29			323
	上富田町	4	4	63	39	15	2		12	24	4	19			186
	すさみ町		2	29	11	6				1	1	4			54
串本		3	4	141	45	35		3	2	8	2	12			255
	古座川町		1	12	7	1				2					23
	串本町	3	3	129	38	34		3	2	6	2	12			232
新宮		18	9	301	136	32	4	4	11	10	6	35			566
	新宮市	11	7	197	91	19	3	2	11	8	5	19			373
	那智勝浦町	5	2	80	32	9	1	2		2		11			144
	太地町	1		16	13	4					1	3			38
	北山村	1		8								2			11
合計		264	207	4,239	2,907	788	30	73	140	263	129	1,087			10,127

Ⅲ 資 料

精神障害者に対する保健福祉施策等一覧

精神障害者に対する保健福祉等施策一覧

平成24年6月1日現在

団体名	①入院医療費の助成	②通院医療費の助成	③作業所等への通所旅費の助成	④障害者福祉年金・福祉手当の支給	⑤夏季・年末見舞金等一時金の支給	⑥公営住宅入居の優先措置又は家賃の減免措置	⑦公営駐車場又は駐輪場等使用料金の減免	⑧バス、タクシー運賃等の助成(③以外)	⑨公営体育施設・文化施設等使用料金の減免	⑩その他
湯浅保健所										
有田市			通所費用の半額を助成。 (上限月2,500円) 【手帳所持者】 【障害年金受給者】 【自立支援医療受給者証所持者】					タクシー基本料金相当分 (年間28回分以内) 【手帳1級】		市民税非課税世帯 水道料金の軽減 【手帳1級・2級】 精神障害者家族会への補助金 25,000円
湯浅町									二の丸温泉(無料) 【手帳所持者】	精神障害者家族会への助成 25,000円/年
広川町								タクシー初乗り運賃助成券 年間24枚配布 【手帳1級】	稲村の火の館(入館料半額免除) 一般 500円→250円 高校生 200円→100円 小・中学生 100円→50円 滝原温泉 ほたるの湯(入湯料減額) 大人(中学生以上)500円→425円 【手帳所持者】	
有田川町			・有田川町授産施設通所交通費助成金 町内に居住地を有し、要綱に定める授産施設に通所する障害者で、その通所距離が2kmを超えるものうち、路線バス、鉄道を利用するもの。 月額10000円を上限に自己負担の半額、授産施設送迎自動車を利用するものは月額2500円。 【手帳所持者】		・有田川町重度心身障害者(児)福祉手当 年額10,000円を支給(施設入所等是非該当) 【手帳1級】	※条例改正 【有田川町営住宅】 【有田川町営きび住宅】 入居者の心身の状況を勘察し、特に居住の安定を図る必要がある場合は、月収259000円を超えない(裁量世帯)については通常は上限を214,000円としている。 【手帳所持者】		【有田川町福祉タクシー】 町内に住民票を有する障害者で、手帳を有田川町が管理している者。 要綱で定める福祉タクシーの基本料金相当額とし、1人1年間24回を限度とする。 【手帳1級】	有田川町かなや明恵峡温泉使用料 (1回券)大人(中学生以上)300円 小人(4歳以上～小学生以下)200円 回数券(12回数券)大人3,000円小人2,000円 (6回数券)大人1,500円小人1,000円 【手帳所持者】	
御坊保健所										
御坊市		自立支援医療費(精神通院)の自己負担分(1割)の1/2を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	作業所への通所の際、公共交通機関を利用する場合、月12,000円を限度に補助【手帳所持者・障害年金受給者・自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】							
美浜町		自立支援医療費(精神通院)の自己負担分(1割)の1/2を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	通所(片道2kmを超える場合)に係る費用(公共交通機関に限る)の1/2を月額1万円を限度に助成 【在宅障害者で作業所等へ通所している者】	・扶養手当 月5,000円(在宅)月4,000円(施設) 【20歳未満の手帳所持者】 ・福祉手当 月2,000円(在宅)所得制限有 【20歳以上の手帳所持者】				バス及びタクシーの料金の助成 美浜町外出支援事業として年間12,000円分の100円券を発行。 【手帳所持者】		
日高町		自立支援医療費(精神通院)の自己負担分(1割)を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	福祉共同作業所への通所、公共交通機関の利用に限る。 通所経費の1/2、月額10,000円を支給(在宅障害者) 【手帳所持者】				H25. 4. 1～ 駐車料金の5割減免	タクシー利用1回につき、初乗り料金を助成 年間36枚	温泉館「海の里」 使用料の一部減免(600円→510円) 【手帳所持者】	【心身障害児者福祉手当】 月額4,000円を支給。 障害者については、所得制限あり。 【者:手帳1, 2級】 【児:手帳1, 2, 3級】
由良町		自立支援医療費(精神通院)の自己負担分(1割)を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】		月額3,000円 収入要件有り 【手帳1, 2級】						
日高川町		自立支援医療費(精神通院)の自己負担分(1割)を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	通所に係る経費の1/2を支給する。 (上限1万円) 【手帳所持者】	月額3,000円を支給 (18歳以上は年収120万円未満の者に限る) 【手帳所持者】				日高川町コミュニティバス乗車料金 半額 【手帳所持者】	町内温泉施設(美山温泉 愛徳荘・きのくに中津荘・鳴滝温泉館)入浴料半額 【手帳所持者】 かわべ天文公園(入場料半額/介助者も可) 【手帳所持者】	
印南町			通所に係る公共交通機関の料金の半額を助成。【手帳所持者】							

精神障害者に対する保健福祉等施策一覧

平成24年6月1日現在

団体名	①入院医療費の助成	②通院医療費の助成	③作業所等への通所旅費の助成	④障害者福祉年金・福祉手当の支給	⑤夏季・年末見舞金等一時金の支給	⑥公営住宅入居の優先措置又は家賃の減免措置	⑦公営駐車場又は駐輪場等使用料金の減免	⑧バス、タクシー運賃等の助成(③以外)	⑨公営体育施設・文化施設等使用料金の減免	⑩その他
田辺保健所										
みなべ町	保険診療分自己負担額を助成(所得制限有り) 【手帳所持者】 【障害年金1級・2級】	保険診療自己負担額を助成(所得制限有り) 【手帳所持者】 【障害年金1級・2級】 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	・交通手段や距離等で補助額算定(上限2万円) 【作業所へ通所する町内居住の障がい者】	・1年以上みなべ町に居住。 ・施設入所者は除く。 所得制限有り 月額4,000円。 【手帳所持者】				タクシーの初乗り料金を助成10枚綴りのタクシー券を年間4冊交付 【手帳所持者】	鶴の湯温泉(入浴料半額600円→300円) 【手帳所持者】	①配食サービス(・弁当の配給・自己負担有り安否確認兼ねる) 【概ね単身世帯の障害者で調理が困難な者】 ②工賃が5,000円以下は利用者定率負担額を、工賃が5,000円を超える場合は工賃5,000円を超える部分の1/2に相当する金額を利用者定率負担額から差し引いた額を補助【就労施設利用者負担額助成】
田辺市		自立支援医療費(精神通院)の自己負担分を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	就労支援施設に通所する障害者に対する交通費を補助 【就労支援施設通所者】	手帳1級(20歳未満は手帳所持者)の者で、市民税非課税(所得割)の者に年額28,500円を支給。 【手帳所持者】		・入居抽選の際、抽選番号を2つ得ることができる。 ・入居所得基準を優遇措置収入月額158,000円以下のところ214,000円以下 【手帳1・2級】		自動車税の減免を受けていない者にタクシー券500円×20枚を交付 【手帳1級】	田辺市立美術館・紀州備長炭発見館入館料1/2減免 【手帳所持者】	工賃が5,000円以下は利用者定率負担額を、工賃が5,000円を超える場合は5,000円を超える部分の1/2に相当する金額を利用者定率負担額から差し引いた額を助成 【就労支援通所者】
白浜町		自立支援医療自己負担分(1割)を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	作業所等への交通費(2 [※] 以上に限る)の一部を補助 【作業所利用決定者】			家賃設定時に優遇措置あり 【手帳所持者】 【障害年金受給者】			町営公衆浴場(全額免除) 町民プール(全額免除)	
上富田町		自立支援医療(精神通院)自己負担分(1割)の半額(保険適用医療費の5%を助成) 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	町内に住所を有する在宅の障害者で、自宅から片道2kmを超える作業所に通所している者に対し、交通費の一部を助成。			①入居所得基準の緩和 【手帳1級・2級】 ②家賃計算上の所得控除 【手帳所持者】		くちくまのコミュニティバスの回数券またはバスポートの料金割引(半額補助) 【手帳所持者】		
すさみ町			作業所等への通所の交通費 【手帳所持者・自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】							
新宮保健所串本支所										
串本町	保険適用医療費自己負担分の費用を助成【手帳1・2級】	保険適用医療費自己負担分の費用を助成(自立支援医療費を含む) 【手帳1・2級】	作業所等への通所の交通費 町内に住所を有する在宅の者で、自宅から町内、町外の就労支援施設に通所しており、片道が2 [※] を超えるもの。 【手帳所持者】	年間所得が10万円以下の者に対して年額30,000円を支給する。 【手帳1級】				障害の程度が手帳1級で在宅の者に対し、町と契約しているタクシー会社のタクシーを利用する時の基本料金相当額を年間12回分助成する。(1人につきタクシー券年間12枚交付) 【手帳1級】	串本温泉 サンゴの湯(400円→100円) 【手帳所持者】	
古座川町	入院医療費自己負担分を助成(食事療養費を含む) 【手帳1級・2級】	通院医療費自己負担分を助成 【手帳1級・2級】	古座川町内に住所を有し、施設に通所する障害者のうち、該当する交通手段を利用する者で、通所距離が片道2 [※] を超える者に対し交通費を助成(上限月3,000円)	非課税世帯に属する者(月額3,000円) 【手帳1級・2級】		入居所得基準を優遇 【手帳1級・2級】 公営住宅法に基づく家賃計算上の所得控除 【手帳所持者】		町営バス(運賃免除) 【手帳所持者】		
新宮保健所										
新宮市		自立支援医療(精神通院)の自己負担分の半額を助成 【自立支援医療受給者かつ手帳所持者】	・通勤距離が2kmを超える者。 ・該当の交通手段の1月の合計金額が12,000円を超える場合は上限12,000円/月 ・施設の送迎車両利用の場合は、送迎距離10 [※] 未満は3,500円/月、10 [※] 以上は7,000円/月を限度 【手帳所持者】			(公営住宅法に基づく)家賃計算上の所得控除 【手帳1級・2級】 入居資格の優遇 【手帳所持者】		タクシー基本料金(初乗り料金)から1割を引いた額(年間の利用回数26回) 新宮市に事業所のあるタクシー事業所のみ 【手帳1級】	心身障害児福祉手当 児童1人につき月額3,000円 【20歳未満の手帳所持児童を監護する者】	
那智勝浦町			就労支援施設通所交通費補助金10日以上通所で10,000円上限で満額支給。5日以上で半額支給 【障害福祉サービス利用者】			入居所得基準を和 収入月額158,000円以下のところを214,000円以下まで緩和 【手帳所持者】		那智勝浦町営バス 手帳提示により半額 【手帳所持者】		
太地町		通院医療費(保険適用分)を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	通所にかかる費用(交通機関)上限月10,000円(福祉車両)上限月5,000円(自家用車)上限月4,000円 片道2kmを超えるもの 【作業所通所者】			入居所得基準を優遇措置 【手帳所持者】	町長が必要と認めた時に減免することができる。	町営バス利用料金割引(半額補助) 【手帳所持者】		
北山村								村営バスは申請により無料 村民以外でも障害者は定期の割引あり		

精神障害者に対する保健福祉施策等一覧

平成25年6月1日現在

団体名	①こころの相談事業	②デイケア事業	③その他 3障害合同の事業等
和歌山県	各保健所単位・精神保健福祉センターで実施	各保健所単位で実施(海南保健所除く)	
和歌山市	月3回実施 (第1水曜日、第2金曜日、第4金曜日) 担当：医師 精神保健福祉相談員	月2回実施 (第1、第3木曜日) (9時30分-12時) 担当：精神保健福祉相談員	地域生活支援ルーム(常設 月～金) 和歌山市精神障害者スポーツ大会(年1回) 和歌山市精神保健福祉市民講座(年1回) 家族教室(年10回) 相談(随時) 担当：精神保健福祉相談員
海南市			
紀美野町			
紀の川市			・相談支援事業 随時 担当：精神保健福祉士 ・障害者就労支援施設等利用者負担助成事業
岩出市			地域生活支援事業 ・移動支援事業 ・日中、一時支援事業
橋本市			障害児者レクリエーション教室開催事業 担当：NPO法人職員
かつらぎ町			
九度山町			
高野町	随時 担当：保健師		
有田市			家族会の開催(当事者も参加) 月1回 担当：保健師
湯浅町		月1回 担当：保健師(町・県) 相談員 (広川町で合同実施)	
広川町		月1回 担当：保健師(町・県) 相談員 (湯浅町と合同実施)	
有田川町	月1回実施(月) 担当：県立こころの医療センター医師 清水地区で実施	金屋文化保健センター 月2回実施 清水地区 月4～5回 担当：保健師・栄養士(調理実習があれば)	年1～2回(予定) 担当：家族会・保健師
御坊市			
美浜町			
日高町			
由良町			
日高川町		隔月実施 担当：保健師・栄養士	
印南町			
田辺市			
みなべ町			
白浜町	直接医療機関に予約する 担当：白浜はまゆう病院及び南和歌山医療センター心理相談室職員 (県自殺対策緊急強化基本事業)	月1回実施 担当：白浜町保健師 精神保健福祉士	
上富田町			
すさみ町			
串本町			
古座川町			
新宮市			
那智勝浦町	年6回実施 担当：精神科医師 保健師	月1回実施 担当：保健誌 精神保健福祉士	
太地町			
北山村			

和歌山県精神保健福祉センター所報

— 平成24年度 —
(平成25年10月発行)

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階

TEL 073-435-5194 FAX 073-435-5193

ホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040400/050301/index1.html>